

## 生産現場における防除実例と今後の展望 ～神奈川県の場合～

大矢 武志 氏

(神奈川県農業技術センター)

日時：2012年2月28日(火) 15:30～17:00頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0412 教室

神奈川県の農業は『首都圏』という巨大消費地に食料を提供しており、品質と収量の双方を高めた生産が求められています。限られた農地を最大限に利用した作付けが行われており、過密かつ連続した栽培による害虫の多発生も起こっています。必然的に高い防除圧が欠かせませんが、消費者が求める「安全・安心」や害虫が身につけた「殺虫剤抵抗性」によって、単純に農薬をたくさん撒けば良いという状況ではありません。

今回のセミナーでは、神奈川県の生産現場における実際の防除事例や今後取り組もうとしている研究内容を紹介して頂きます。内容は生物的防除法(天敵)に留まらず、化学的防除法(農薬)や物理的防除法、育種や栽培の技術を含めた耕種的防除法にも及びますので、是非、多くの分野の学生さんに参加して頂きたいと思っています。宜しく申し上げます。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享

(5号館 208、内線 7810)